

本 社 東京都品川区大崎2丁目1番1号 (ThinkPark Tower)

パワートランスミッション・コントロール (PTC) 事業部

お客様相談センター ☎ 0120-03-8399

携帯電話から 0570-03-3196

FAX.03-6866-5160

ホームページ <http://www.shi.co.jp/ptc/>

技術情報・カタログ請求

営 業 所 (住友重機械精機販売株式会社)

北海道 札幌市東区北47条東16丁目1番38号 〒007-0847
TEL.(011)781-9801 FAX.(011)781-9807

仙台 仙台市青葉区一番町3丁目3番16号(オー・エックスビル) 〒980-0811
TEL.(022)264-1242 FAX.(022)224-7651

埼玉 さいたま市大宮区桜木町4-242(鐘塚ビル) 〒330-0854
TEL.(048)650-4700 FAX.(048)650-4615

千葉 千葉市稲毛区長沼原町731-1 〒263-0001
TEL.(043)420-1697 FAX.(043)420-1564

東京 東京都品川区大崎2丁目1番1号(ThinkPark Tower) 〒141-6025
TEL.(03)6737-2520 FAX.(03)6866-5171

神奈川 神奈川県相模原市橋本6丁目4-15(橋本崎ビル) 〒229-1103
TEL.(042)770-5630 FAX.(042)770-5636

富山 富山市上袋327-1 〒939-8071
TEL.(076)491-5660 FAX.(076)491-5604

金沢 金沢市南町4番55号(住友生命金沢ビル) 〒920-0919
TEL.(076)261-3551 FAX.(076)261-3561

静岡 静岡市駿河区中田2丁目1番6号(村上石田街道ビル) 〒422-8041
TEL.(054)654-3123 FAX.(054)654-3124

名古屋 名古屋市中区錦1丁目18-24(HF伏見ビル) 〒460-0003
TEL.(052)218-2980 FAX.(052)218-2981

滋賀 滋賀県蒲生郡日野町大字松尾334番地 〒529-1601
TEL.(0748)53-8900 FAX.(0748)53-3510

大阪 大阪市北区中之島2丁目3番33号(大阪三井物産ビル) 〒530-0005
TEL.(06)7635-3663 FAX.(06)7711-5119

神戸 兵庫県明石市本町1丁目2-29(明石追手ビル) 〒673-0892
TEL.(078)912-8020 FAX.(078)912-9788

岡山 岡山県倉敷市栗坂854-10 〒701-0113
TEL.(086)463-5678 FAX.(086)463-5608

広島 広島市南区福荷町4番1号(住友生命広島ビル) 〒732-0827
TEL.(082)568-2521 FAX.(082)262-5544

四国 愛媛県新居浜市新田町3丁目4番23号(SESビル) 〒792-0003
TEL.(0897)32-7137 FAX.(0897)34-1303

北九州 北九州市小倉北区中井5丁目17-9 〒803-0836
TEL.(093)562-0002 FAX.(093)562-0034

福岡 福岡市博多区中洲5丁目6番20号(明治安田生命福岡ビル) 〒810-0801
TEL.(092)283-3277 FAX.(092)283-3177

大牟田 福岡県大牟田市小浜町1丁目20-1(三井鉱山ビル) 〒836-0034
TEL.(0944)53-7372 FAX.(0944)53-7325

名古屋工場 愛知県大府市朝日町6丁目1番地 〒474-8501
TEL.(0562)48-5243 FAX.(0562)48-2161

海外窓口 東京都品川区大崎2丁目1番1号(ThinkPark Tower) 〒141-6025
TEL.(03)6737-2511 FAX.(03)6866-5160

修理・メンテナンスのお問合せ先

住友重機械精機販売(株)サービスセンター

東京 埼玉県戸田市美女木5丁目9-13 〒335-0031
TEL.(048)449-4747 FAX.(048)449-4786

名古屋 愛知県大府市朝日町6丁目1番地 〒474-8501
TEL.(0562)44-1997 FAX.(0562)44-1998

大阪 大阪府茨木市横江2丁目1-20 〒567-0865
TEL.(072)637-7551 FAX.(072)637-5774

九州 福岡県福岡市博多区那珂3丁目16-30 〒816-0093
TEL.(092)431-2678 FAX.(092)431-2694

CYCLO[®]

サイクロモータプーリ



住友のサイクロモータプーリは

堅牢で長寿命です

サイクロモータプーリはプーリドラム内にモータ直結形サイクロ®減速機を内蔵したものです。したがってサイクロ減速機の長所がそのまま活かされており構造並びに取扱いが簡単です。



1. 特長

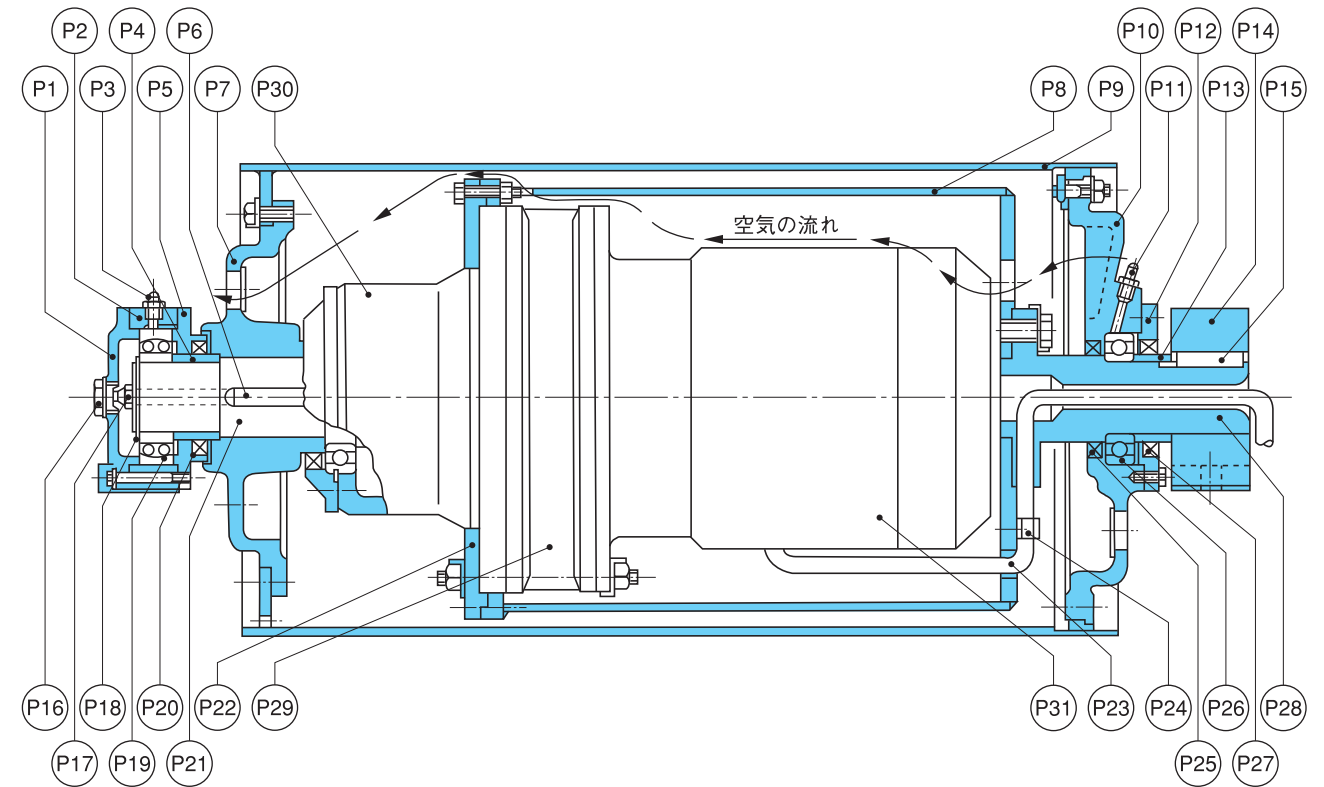
- (1) 堅牢で長寿命です。
- (2) 効率が良く運転が円滑、静粛です。
- (3) コンパクトで軽量です。
- (4) 保守が簡単で故障がありません。
- (5) ドラム周速度を豊富なシリーズより選べます。

2. 形式

CPM 2 - 6145 - 87

- 減速比
- サイクロ減速機枠番
- モータ容量記号
- サイクロモータプーリ

3. 構造



上図に示すとおり、プーリドラム (P9) に内蔵されたサイクロ減速機の枠 (P29) 及び外カバー (P30) は、固定筒 (P8) によって固定軸 (P28) に固定され、固定軸は軸止台 (P14) に、キー止めされています。

電動機の回転は、サイクロ減速機によって減速され、低速軸 (P21) よりブラケット [I] (P7) を介してドラム (P9) を回転させます。

ドラムの他の端は、ブラケット [II] (P10) を介して軸受 (P26) により支えられています。また低速軸端は軸受箱 (P2) の軸受により支えられています。

モータキャブタイヤケーブル (P23) は固定軸 (P28) の中を通して電源と接続される構造になっています。

表 1

符号	名 称	符号	名 称	符号	名 称
P1	軸受箱カバー [I]	P12	ブラケットカバー	P23	キャブタイヤケーブル
P2	軸受箱	P13	ディスタンスピース	P24	ケーブル取付金物
P3	グリースニップル	P14	軸止台	P25	オイルシール
P4	ディスタンスピース	P15	キー	P26	玉軸受
P5	軸受箱カバー [II]	P16	補給口栓	P27	オイルシール
P6	キー	P17	グリースニップル	P28	固定軸
P7	ブラケット [I]	P18	スナップリング	P29	枠
P8	固定筒	P19	玉軸受	P30	外カバー
P9	ドラム	P20	オイルシール	P31	電動機
P10	ブラケット [II]	P21	低速軸		
P11	グリースニップル	P22	外カバー取付金物		

6. 保守

サイクロモーターブリーの潤滑方式にはグリース潤滑と油潤滑の2種類があります。
種別については表2をご参照下さい。

(1) グリース潤滑

グリース潤滑機種はグリースを充填して出荷していますので、そのまま利用されて結構です。

① 標準グリース

表4

周囲温度 ℃	サイクロ減速機 軸受A部、軸受B部	電動機
-10~50	コスモ石油	協同油脂
	コスモグリース ダイナマックスSH No.2	マルテンブ SRL

② 補給

(a) サイクロ減速機

補給口栓①を外し低速軸端のグリースニップル②から1000~2000時間を目安に補給してください。補給量は表5をご参照ください。
1年以上停止後、運転を開始するときも新しいグリースを補給してください。

(b) 軸受A、B部

グリースニップル③④より2500時間毎に補給してください。
補給量は表5をご参照ください。

(c) 電動機軸受

電動機の軸受には、シールドベアリングを使用していますので、補給の必要がありません。
なお2~3年を目安とした定期点検時に軸受ごと交換願います。

③ 交換

サイクロ減速機部、軸受A及びB部のグリースは2~3年を目安とした定期点検時に新しいグリースと交換願います。
充てん量は表5の交換量をご参照ください。

グリース潤滑機種

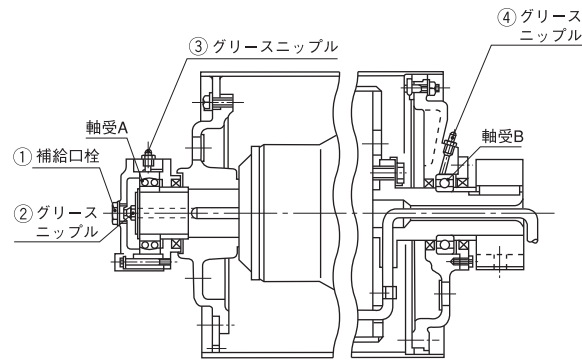


表5. グリース補給量、交換量 (g)

形式	補給量	サイクロ減速機			軸受A部		軸受B部	
		減速機構部1段目(入力側)	減速機構部2段目(中間部)	低速軸受部(出力側)	補給量	交換量	補給量	交換量
CPM05-6105	40	120	—	30	3	8	3	8
CPM1-6125	85	250	—	55	10	25	10	25
CPM1-6135	150	450	—	300	5	15	5	15
CPM2-6135					10	25	10	25
CPM3-6135					5	15	5	15
CPM1-6130DC	40	120	450	300	10	25	10	25
CPM2-6145	150	450	—	300	10	25	10	25
CPM3-6165	250	750	—	300				
CPM2-6160DB	40	120	750	300				
CPM3-6160DC	85	250	—	—	15	35	15	40
CPM5-6165	250	750	—	300	20	55	20	55
CPM8-6165					20	55	20	55
CPM10-6165					20	55	20	55

(2) 油潤滑

油潤滑機種は、油を抜いて出荷していますので、必ず運転前に規定位置まで給油してください。

① 給油 (サイクロ減速機及び軸受A部)

軸受箱上部にある給油栓より、表6の油量を目安にオイルゲージの上の赤線まで給油してください。
オイルゲージはサイクロ減速機の外カバーに装着されており、ブラケット[I]の窓枠を通して見ることができます。
潤滑油は工業用極圧ギヤ油 SP系をご使用ください。
(推奨潤滑油についてはお問合せください)

油潤滑機種

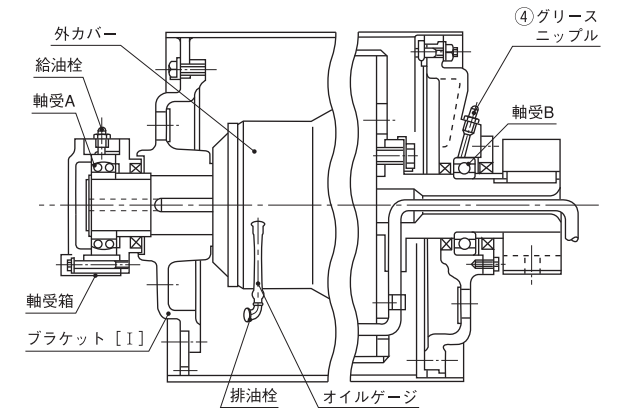


表6. 給油量 (ℓ)

形式	CPM5-6175	CPM8-6175	CPM10-6175	CPM3-6170DC	CPM5-6175DC	CPM8-6185	CPM10-6185
油量	1.5		2.0		2.0		

② 排油 (サイクロ減速機及び軸受A部)

排油は、排油栓を外して行ないます。排油栓の寸法は表7をご参照ください。
排油の際、ドラム内にオイルがあふれ出ない用注意してください。
又軸受箱据付部の設計に際し、排油のスペースを考慮してください。

③ 電動機軸受及び軸受B部のグリース補給交換

(a) 電動機軸受

グリース潤滑機種に準じてください。

(b) 軸受B部

グリース潤滑機種に準じてください。
補給量、交換量は表8をご参照ください。

表8. グリース補給量、交換量

形式	軸受B部	
	給油量	交換量
CPM5-6175	20g	50g
CPM8-6175		
CPM10-6175		
CPM3-6170DC		
CPM5-6175DC		
CPM8-6185		
CPM10-6185		

表7. 排油栓寸法

形式	排油栓 サイズD	S	K
CPM3-6170DC	1/4	189	105
CPM5-6175			
CPM5-6175DC			
CPM8-6175			
CPM8-6185			
CPM10-6175			
CPM10-6185			

④ 交換時期

(a) 油交換は表9を目安に行ってください。

表9

給油	交換時期		使用条件
	購入時	500時間	
油 交 換	初回	500時間	—
	2回目 以降	1回/半年	~12時間/日
		1回/2500時間	12~24時間/日
	1回/1~3ヵ月	高温、多湿、活性ガス等の特殊環境下	

長期間停止後運転を開始する時は、必ず新油と交換してください。

(b) 軸受B部のグリース補給、交換時期は、グリース潤滑機種に準じてください。